

海洋フォーラム

「大阪から世界の海へ～海とヒトの関係を考える～」

日 時：5月12日（日） 13時30分～17時（開場：13時）

場 所：海遊館ホール（大阪市港区海岸通1-1-10、大阪メトロ 中央線「大阪港駅」1番出口より徒歩約5分）

※海遊館に併設しており、海遊館に入館しなくてもホールに入ることができます

主 催：笹川平和財団海洋政策研究所、海遊館

笹川平和財団海洋政策研究所（東京都港区 所長：角南篤）と海遊館（大阪市港区 館長：西田清徳）は、2019年5月12日（日）に海遊館に併設の「海遊館ホール」にて、海洋フォーラム「大阪から世界の海へ～海とヒトの関係を考える～」を共催します。

大阪湾は、大型のクルーズ船や貨物船が行き交い、人工の島や岸壁も多数存在していますが、漁業が盛んに行われ、スナメリ（鯨類）が生息するなど、海とそこに棲む生き物とヒトの暮らしが密接に関わっています。また、大阪湾の南には黒潮の流れる太平洋が開け、世界の海へとつながっています。

本フォーラムの第一部では、いま大きな問題になりつつある海洋プラスチックなどの海の問題をテーマに、大阪湾と世界の海の動向について議論します。第二部では、水産業をはじめ私たちの暮らしに密接な関係のある魚食文化について議論します。ぜひ様々な視点から一緒に考える機会になれば幸いです。

プログラム

開会（ご挨拶）	
13:30	角南篤（笹川平和財団海洋政策研究所 所長）
第1部：大阪の海と世界の海	
13:35	「開催施設からのご挨拶、海遊館の取組み」 西田清徳（海遊館 館長）
13:45	「豊かな大阪の海に向けて」 岩井克巳（大阪湾沿岸域環境創造研究センター・専務理事）
14:05	「海の環境をめぐる世界の動き」 前川美湖（笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員）
14:25	「パネルディスカッション（座談・質疑）： 大阪の海と世界の海—G20に向けて」 モデレータ：竹田有里（環境ジャーナリスト） パネリスト：西田清徳・岩井克巳・前川美湖・角南篤 <休憩：15分>
第2部：海とヒトの関係を考える	
15:10	「海とヒトの関係学にこめた想い」 秋道智彌（山梨県立富士山世界遺産センター・所長）
15:25	「マグロ資源の管理・保全に向けて—完全養殖の役割」 升間主計（近畿大学水産研究所・所長）
15:45	「サメ資源保護と魚食—インドネシアのサメ漁業の村から考える」 鈴木隆史（桃山学院大学・兼任講師）
16:05	「世界で最も美しい湾クラブ」 高桑幸一（美しい富山湾クラブ・事務局長）
16:25	「パネルディスカッション（座談・質疑）： 将来に向けて取り組むべきこと—国際社会のなかで」 モデレータ：角南篤・秋道智彌 パネリスト：升間主計・鈴木隆史・高桑幸一
閉会（ご挨拶）	
16:55	西田清徳（海遊館 館長）



西田清徳（海遊館・館長）



角南篤（海洋政策研究所・所長）



竹田有里（司会、環境ジャーナリスト）

参加登録はこちらから↓

（無料）



【問合せ先】

・公益財団法人笹川平和財団広報課 上津原 (Email: spfpr@spf.or.jp、TEL: 03-5157-5389)

・海遊館広報課チーム 村上 (TEL: 06-6576-5529)